

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	MEC(中等量)
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発・難治の急性骨髄性白血病
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	AML-010
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	J Clin Oncol. 1991 ;9:1210-4.
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	エトポシド (エトポシド点滴静注液)	100mg	80 mg/m ²	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他()	1 時間	day1-6
	生理食塩液	500 mL				
No.2	シタラピン (シタラピン点滴静注液)	400,1000 mg	1000mg/m ²	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他()	6時間	day1-6
	生理食塩液	500 mL				
No.3	ミトキサントロン塩酸塩 (ノバントロン注)	10 mg	6mg/m ²	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他()	全開	day1-6
	生理食塩液	100 mL				

1コースの期間	*1
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【投与開始基準】 好中球数 ≥1000 / μL 血小板数 ≥5万 / μL 総ビリルビン <3.0mg/dL 血清クレアチニン <2.0mg/dL 左室駆出率 ≥50%
前投薬	アプレピタント+5-HT3受容体拮抗薬+デキサメタゾン
その他の注意事項	*1 好中球、WBCおよび血小板が開始基準のカウントに回復してから1週間後 ・1-2コース実施する ・TLS予防としてラスプリカーゼ、フェキシスタットの使用を考慮する。 ・眼症状の予防のために、副腎皮質ホルモン点眼剤(フルオロメトロン点眼液0.1%、ベタメタゾン点眼液0.1%等)を使用する。 ・比較的若年の患者に対して、サルベージ療法および移植までのブリッジングとして用いる。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	三浦 大典